

2021年9月16日

株式会社京葉銀行



### 「アルファバンク被災地応援プラットフォーム」の導入について

～ 全国初！自然災害に備え、当行が自治体と事業者をつなぐ試み～

株式会社京葉銀行（頭取 熊谷 俊行）は、2021年9月29日（水）、四街道市（市長 佐渡 斉）、香取市（市長 宇井 成一）、株式会社テックコーポレーション（代表取締役社長 中本 義範）、株式会社ウィード（代表取締役 渡邊 賢司）をパートナーとして、「アルファバンク被災地応援プラットフォーム（※）」を導入しますので、お知らせします。

（※）台風や地震などの自然災害発生時、避難所などで必要となる支援物資を自治体が円滑に調達できる仕組み

#### 【スキームの概要】

本プラットフォームは、「自治体と当行」、「当行と取引先等の事業者」がそれぞれ災害連携協定を締結します。当行は、あらかじめ事業者が協力できる内容を取りまとめ、自治体に情報を一元化します。災害が発生した際に自治体の要請に基づき、事業者が円滑な支援物資の提供を行うものです。当行、自治体、取引先等の事業者の連携により、地域の皆さまに安心・安全に物資をお届けします。

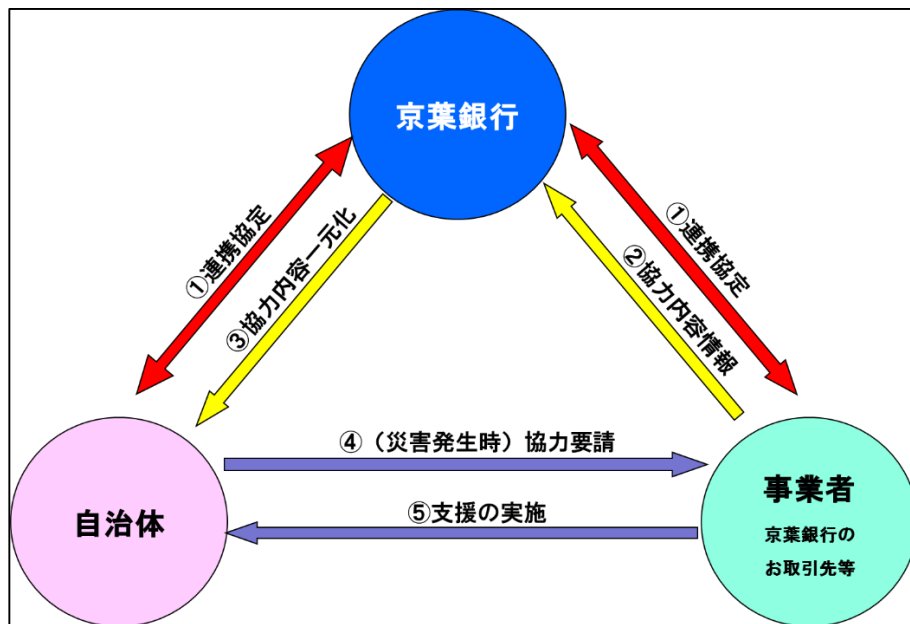
このような取り組みは、全国でも初めての試みであり、今後もこのプラットフォームを多くの自治体、事業者に提供してまいります。

#### 【導入メリット】

本プラットフォームの活用により、自治体はあらかじめ一元化された情報を備えておくことで、明確な支援要請を行うことができ、セーフティネット機能の強化につながります。

事業者は各自自治体とリレーションシップを図ることで、迅速かつ安定的に支援物資を提供できるなど、地域への貢献が期待されます。

【スキーム図】



【今回協定を締結する事業者が支援する物資】

株式会社テックコーポレーション：酸性電解水（次亜塩素酸水）


株式会社ウィード：天然ゴム使い切り手袋、天然ゴム作業用手袋

【今後対象の拡大を想定する事業者（例）】

飲食品関連事業者、医薬品関連事業者、医療関係事業者、輸送関係事業者、  
レンタル空調事業者、その他避難所や被災地で必要と思われる物資の取扱事業者  
（段ボールベッド、ブルーシート、衛生用品など）

京葉銀行は、今後もお客さまとともに地域の課題解決に取り組んでまいります。

以 上



京葉銀行ではSDGsへの取り組みに関するニュースリリースに、「SDGs 17の目標アイコン」を標示しています。

【SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）】  
2015年9月に国連で採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと。17のゴール・169のターゲットから構成される。